

当院で経皮的心房中隔欠損閉鎖術を施行された患者さん・ご家族へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

対象となる方

2009年4月～2021年2月の間に、国立循環器病研究センターで奇異性塞栓を発症後に、Amplatzer Septal Occluder(ASO)で卵円孔閉鎖術を施行された方

研究課題名

奇異性脳梗塞の再発予防に対する Amplatzer Septal Occluder を用いた卵円孔閉鎖術の安全性と有効性の検討

研究責任者

国立循環器病研究センター 小児循環器科 スタッフ 藤本一途

研究の目的

当院で施行した ASO を用いた卵円孔閉鎖術症例の結果・転帰を見返して、欠損孔や周囲の心房中隔の形態の特徴、それらに対する適切な Device の選択・留置法などを明らかにする

利用する診療情報

カテーテル施行時年齢、性別、奇異性脳梗塞発症年齢、カテーテル治療中の経食道心臓超音波検査による欠損孔の長径/短径、PFO tunnel の長さ、コントラスト時のバブル数、balloon sizing、Device 径

研究期間

研究許可日より 2021 年 5 月 31 日まで（予定）

個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌

等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

問合せ先

国立循環器病研究センター 小児循環器内科 担当医師 藤本一途
電話 06-6170-1070(代表)